

# 名寄高新聞

## バドミントン特集

北海道名寄高等学校新聞局

2020.9.7

発行責任者 小原圭乃

### 支部バドミントン選手権大会：稚内総合体育馆

冬季

## 稚内に敗れ2位

### 島津さんが個人2種目3位

新型コロナの感染拡大で中止となった高体連大会の代替として、令和2年度名寄支部高等学校バドミントン選手権大会が、7月23日から25日まで稚内総合体育馆で行われた。

女子の部には名寄高校、稚内高校、浜頓別高校、利尻高校、礼文高校の5校が出場し、シングルス、ダブルス、団体戦でそれぞれ熱戦が展開された。名



シャトルを凝視しサーブに集中する島津睦美さん

年生4人、3年生2人が出場。団体戦は決勝高女子バトミントン部からは1年生4人、2

年生4人、3年生2人が出場。団体戦は決勝高女子バトミントン部からは1年生4人、2



力強くショットを打つ安東みづほさんと林あいかさん  
美さん(2A)・大山愛葵さん(2C)ペアが3位、  
安東みづほさん(3A)・林あいかさん(3D)ペア  
がベスト8。また、シングルスでは島津さんが3位、安東さんと大山さんがベ  
スト8となった。

団体戦には横濱朱莉主将(2C)、安  
東さん、林あいかさん、大山さん、  
島津さん、水島ひなたさん(2B)、畠  
山野乃さん(1A)が出場。初戦の準決  
勝で浜頓別高校と対戦した。

第1ダブルスの安東・林ペアは第  
1ゲーム前半、ややミスもあったが  
8-5とリード。そして、ここから  
安東さん・林さんのスマッシュ、林  
さんのドロップショット、安東さん  
のサービスエースなどが次々と決ま  
り13連続得点。21-5でこのゲー

ムを先取する。第2ゲームもリズムに乗る名  
高ペアがスマッシュなどで圧倒。21-4で  
連取し、ゲームカウント2-0で勝利した。

第2ダブルスには横濱・水島ペアが登場。  
第1ゲームは序盤6-4と接戦となるが、こ  
こから水島さんのサービスエースなどで6連  
続得点し12-4とリードを広げる。その後  
も水島さんのスマッシュや横濱さんのコース  
を突くショットなどで得点し、21-11で  
第1ゲームを奪う。第2ゲームも横濱さんの  
サービスエースや水島さんのスマッシュなど  
で主導権を握り、21-16で連取。ゲーム  
カウント2-0で勝利した。

第1シングルスには1年生の畠山さんを起  
用。第1ゲームを18-21、第2ゲームを  
21-18で取り合う熱戦となる。しかし、  
第3ゲームはミスが重なり13-21で奪わ  
れ、ゲームカウント1-2で惜敗した。

第2シングルスには島津さんが登場。コ  
ースを突く多彩なショットや強烈なスマッシュ  
で圧倒し、第1ゲームを21-2、第2ゲ  
ームを21-5と連取。2-0で完勝した。

その結果、3勝1敗で名高が浜頓別を破り、  
決勝に駒を進めた。

決勝は稚内高校との対戦。第1ダブルスの  
安東・林ペアは果敢に攻めの姿勢を貫くも0



コースを狙いサーブを放つ横濱朱莉主将



慎重にサーブを放つ林あいかさんと安東みづほさん  
ー2 (17-21, 13-21)、第2ダブルスの島津・大山ペアもシャトルを散らし攻めるが0ー2 (14-21, 15-21) とともに敗れる。続く第1シングルでは水島さんが、フルゲームで全ゲームがデュースとなる白熱の試合を展開。第1ゲームを20-22で奪われた後、第2ゲームは粘ってシャトルをつなぎ25-23で取り返す。第3ゲームもスマッシュなどで前半を12-7とリードするが、後半にミスが続き25-27。ゲームカウント1-2で惜しい試合を落とした。この結果、名高は0勝3敗で稚内に敗れ、2位で団体戦を終えた。

個人戦の女子ダブルスには、安東・林あいかペア、島津・大山ペア、水島・畠山ペア、横濱・中川実来さん(1C)ペア、猪狩葵さん(1B)・林歩実さん(1B)ペアの5ペアが出場。

1回戦では安東・林ペア、島津・大山ペア

がともに2ー0で勝利したが、その他のペアは0ー2で敗れた。続く準々決勝では島津・大山ペアが多彩な攻撃で河島・佐藤ペア(浜頓別)に2ー0で勝利したが、安東・林ペアは今大会優勝の遠藤・木下ペア(稚内)に0ー2で敗れた。島津・大山ペアは続く準決勝で中野・今野ペア(稚内)に健闘及ばず0ー2で敗れたが、3位決定戦では佐藤・三上ペア(稚内)を圧倒し2ー0で勝利。3位に輝いた。

女子シングルスには、横濱さん、林あいかさん、安東さん、大山さん、島津さん、水島さん、林歩実さん、畠山さん、猪狩さん、中川さんが出場。

1回戦で、林歩実さんが1ー2、横濱さん・猪狩さん・中川さんが0ー2で敗退。2回戦では、林あいかさん・水島さん・畠山さんがそれぞれ0ー2で敗れた。安東さん、島津さん、大山さんの3人は1回戦、2回戦とも2



体を伸ばしシャトルを返す畠山野乃さん



力を込めシャトルを打ち込む大山愛葵さん

ー0で勝利し、準々決勝に進出。

準々決勝で、安東さんは今野さん(稚内)と対戦。持ち前の力強いショットで健闘したが、0ー2で敗れる。大山さんは今大会優勝の木下さん(稚内)と対戦し、フルゲームの熱戦を繰り広げたが、1ー2で惜しくも敗れた。島津さんは中野さん(稚内)と対戦。試合は白熱し、最終第3ゲームまでもつれたが、実力で勝る島津さんが2ー1で勝利し、準決勝へ進んだ。

島津さんは準決勝で今大会の優勝の木下さんと対戦。深いハイクリアや強打などで善戦したが、一歩及ばず0ー2で敗れ、決勝進出はならなかった。

島津さんはその後、3位決定戦に進んだが、対戦相手の今野さんが棄権。ダブルスに続き、見事3位に輝いた。

## 稚内に勝つチームを作る 横濱 朱莉 主将

今回はコロナの影響で久しぶりの大会であり、強豪の稚内と力試しができる大会でもあった。

団体戦では稚内に勝つことができず悔しかったが、次回は稚内に勝ち名高が優勝できるように頑張っていきたい。ダブルスでは1年生が入り、ペアが替わって課題も明

らかになった。今後はペア同士で声を掛け合い、ローテーションを上手く行っていきたい。また、今まで3年生の偉大さがあった、チームがまとまり動いていたが、3年生が引退してすぐはチーム全体が上手く回らなかった。今後はチームをさらに結束させ、上手く回すことも頑張りたい。

## 稚内と良い勝負できた 濱中 聰志 監督

今回は高体連がなくなり、大会ができるかわからない状況だったので、できることが何よりも嬉しい。結果よりも、3年生が思いっきり試合ができていたので良かった。

結果として、女子団体戦は準優勝だったが、稚内と最後まで良い勝負ができていた。今後は、稚内にしっかり勝ち切ることを課

題として練習に励んでいく。選手には、コロナの影響で高体連各競技が中止になっている中、一生懸命行った練習の成果を発揮できる場が用意されたことに感謝してほしい。そして、日頃から開催の運営者や応援してくれている人たちに恩返しできる練習や大会に対する気持ちを忘れないでほしい。